

令和5年の熱中症による救急搬送状況

救急企画室

1 はじめに

消防庁では、平成20年度から全国の消防本部を調査対象として、熱中症による救急搬送人員を調査しています。

この度、令和5年5月から9月までの全国における熱中症による救急搬送状況を取りまとめましたので、その概要を報告します。

2 熱中症による救急搬送状況

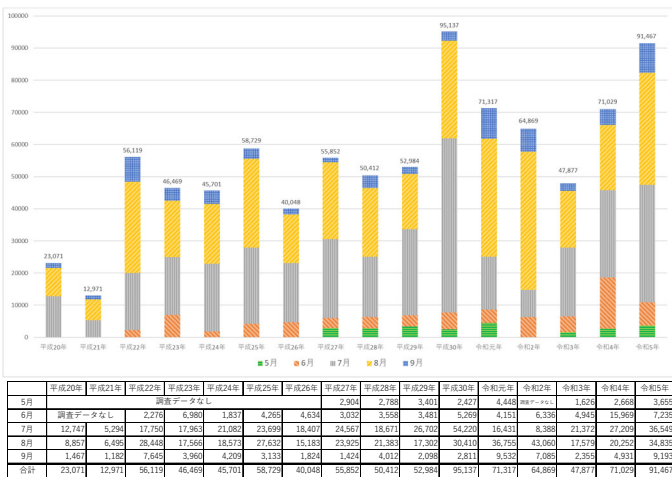
① 救急搬送人員 (表1) (図1)

令和5年5月から9月までの全国における熱中症による救急搬送人員の合計は91,467人でした。

これは、平成20年の調査開始以降、2番目に多い搬送人員となっており、昨年度同時期の救急搬送人員71,029人と比べると20,438人増となりました。

令和5年は非常に厳しい暑さが長期間にわたって続き、5月から7月及び9月がそれぞれの月で過去2番目、8月が過去3番目の搬送人員となりました。

表1 平成20年～令和5年の熱中症による救急搬送人員の推移



熱中症による救急搬送状況(令和5年)
「調査開始から各週の比較」

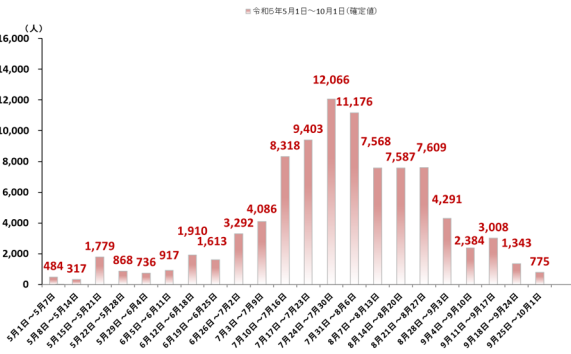


図1 熱中症による救急搬送状況 (令和5年)

「調査開始から各週の比較」

② 年齢区分別搬送人員 (表2) (図2)

年齢区分別で見ると、高齢者が50,173人(54.9%)で最も多く、次いで成人30,910人(33.8%)、少年9,583人(10.5%)、乳幼児796人(0.9%)の順となりました。

熱中症による救急搬送状況(令和元年～令和5年)

表2 年齢区分別 (構成比)

年	年齢区分別(人)					合計
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	
令和5年	5 0.0%	796 0.9%	9,583 10.5%	30,910 33.8%	50,173 54.9%	91,467 100%
令和4年	2 0.0%	566 0.8%	7,636 10.8%	24,100 33.9%	38,725 54.5%	71,029 100%
令和3年	7 0.0%	359 0.7%	4,610 9.6%	15,959 33.3%	26,942 56.3%	47,877 100%
令和2年	3 0.0%	329 0.5%	5,253 8.1%	21,756 33.5%	37,528 57.9%	64,869 100%
令和元年	1 0.0%	634 0.9%	8,707 12.2%	24,884 34.9%	37,091 52.0%	71,317 100%

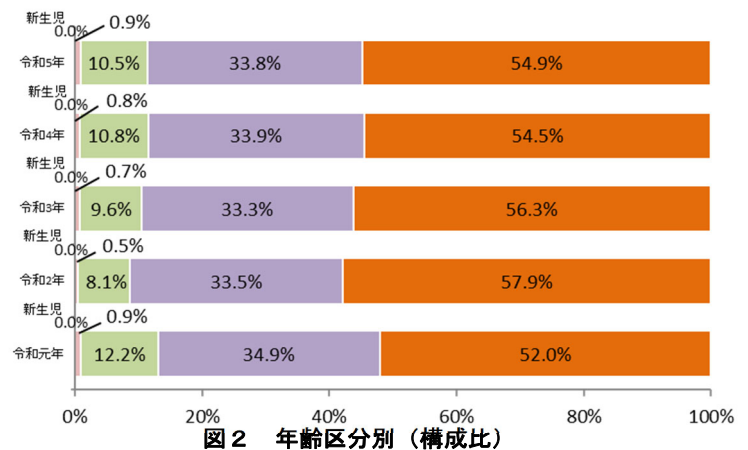


図2 年齢区分別 (構成比)

■ 新生児：生後28日未満の者
■ 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
■ 少年：満7歳以上満18歳未満の者
■ 成人：満18歳以上満65歳未満の者
■ 高齢者：満65歳以上の者

③ 傷病程度別搬送人員 (表3) (図3)

初診時における傷病程度別で見ると、軽症が61,456人(67.2%)で最も多く、次いで中等症27,545人(30.1%)、重症1,889人(2.1%)、死亡107人(0.1%)の順となりました。

熱中症による救急搬送状況（令和元年～令和5年）

表3 初診時における傷病程度別（構成比）

	初診時における傷病程度別(人)					
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
令和5年	107	1,889	27,545	61,456	470	91,467
	0.1%	2.1%	30.1%	67.2%	0.5%	100%
令和4年	80	1,633	22,586	46,411	319	71,029
	0.1%	2.3%	31.8%	65.3%	0.4%	100%
令和3年	80	1,143	16,463	29,758	433	47,877
	0.2%	2.4%	34.4%	62.2%	0.9%	100%
令和2年	112	1,783	23,662	39,037	275	64,869
	0.2%	2.7%	36.5%	60.2%	0.4%	100%
令和元年	126	1,889	23,701	45,285	316	71,317
	0.2%	2.6%	33.2%	63.5%	0.4%	100%

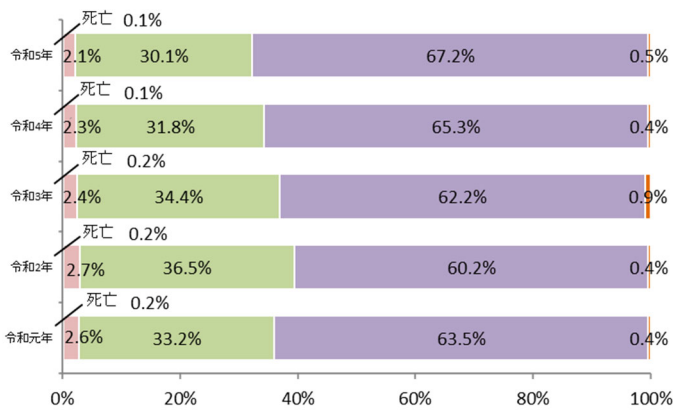


図3 初診時における傷病程度別（構成比）

④ 発生場所別救急搬送人員（表4）（図4）

発生場所別で見ると、住居が 36,541 人（39.9%）で最も多く、次いで道路 15,186 人（16.6%）、公衆（屋外）11,742 人（12.8%）、仕事場①9,324 人（10.2%）の順となりました。

熱中症による救急搬送状況（令和元年～令和5年）

表4 発生場所別（構成比）

	発生場所別(人)								
	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
令和5年	36,541	9,324	2,013	4,310	7,497	11,742	15,186	4,854	91,467
	39.9%	10.2%	2.2%	4.7%	8.2%	12.8%	16.6%	5.3%	100%
令和4年	28,064	8,127	1,690	3,975	5,248	8,368	11,807	3,750	71,029
	39.5%	11.4%	2.4%	5.6%	7.4%	11.8%	16.6%	5.3%	100%
令和3年	18,882	5,369	1,421	2,404	3,172	5,298	8,378	2,953	47,877
	39.4%	11.2%	3.0%	5.0%	6.6%	11.1%	17.5%	6.2%	100%
令和2年	28,121	7,065	1,599	2,901	4,340	6,130	11,276	3,437	64,869
	43.4%	10.9%	2.5%	4.5%	6.7%	9.4%	17.4%	5.3%	100%
令和元年	27,500	7,403	1,792	4,369	6,213	8,944	11,137	3,959	71,317
	38.6%	10.4%	2.5%	6.1%	8.7%	12.5%	15.6%	5.6%	100%

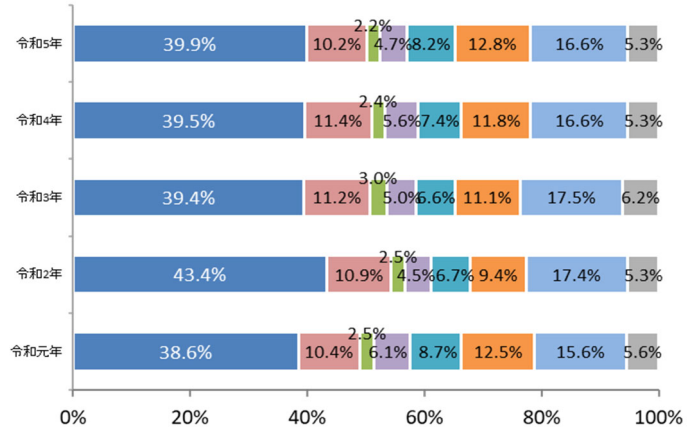
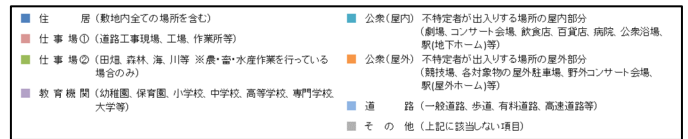


図4 発生場所別（構成比）



3 消防庁の取組

消防庁では、熱中症予防啓発として、従来から熱中症による救急搬送人員の調査と公表、「リーフレット」や「ポスター」、「動画」の作成、消防庁ホームページやツイッターによる情報発信などを通じ、住民の皆様幅広く注意喚起を図るとともに、全国の消防本部が行う予防啓発活動を支援してきました。

今年度は、熱中症のリスクが高いとされている、こどもと高齢者への呼びかけを主なテーマにした熱中症予防啓発ポスターを作成し、都道府県を通じて全国の消防本部へ配布しました。

4 おわりに

今年度の熱中症による救急搬送人員のデータを、熱中症情報サイトで公表しましたので、御活用ください。消防庁では、今後も関係省庁と連携をとりながら、熱中症に関する注意喚起や情報提供を行ってまいります。

消防庁熱中症情報（予防啓発コンテンツも掲載しています）

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

消防庁救急企画室 TEL : 03-5253-7529